

令和 4 年笛吹市議会第 3 回定例会

令和 4 年笛吹市議会第 3 回定例会の開会に当たり、提出した案件につきまして、その概要を御説明申し上げますとともに、前回定例会以降の行政運営の状況について申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に御理解を賜りたいと存じます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてです。

8 月に入り、山梨県の新型コロナウイルスの感染者数は、1,000 人を超える日が続いており、感染が急拡大しています。県は、感染が急拡大する中、軽症者の救急搬送の要請が急増し、救急医療がひっ迫していると危機感を示しています。

市では、これまでも、感染拡大を防ぐため、市民の皆様に手指消毒、マスクの着用、3 密の回避、換気の徹底などの基本的な感染防止対策をお願いしてきました。現在、主流となっているオミクロン株は感染力が非常に強いことから、これ以上の感染拡大を防ぐためにも、改めて感染拡大防止対策の徹底をお願いします。

また、国は、従来株とオミクロン株の両方に対応したワクチンの追加接種について、対象者を 2 回目までの接種を終えた 12 歳以上とし、国内発送が 9 月中旬から可能となる予定であるとして、各自治体に接種体制の準備を進めるよう示しています。

今後、追加接種に関する詳細が決定され次第、市民の皆様が安全かつ円滑に接種ができるよう、笛吹市医師会と連携を図りながら準備を進めていきます。

次に、多目的芝生グラウンドの整備に係る検討についてです。

6 月 28 日、7 月 6 日、12 日に、笛吹市多目的芝生グラウンド整備基本計画検討委員会で検討している内容について、市民の皆様と直接意見を交換するための意見交換会を 3 回開催しました。また、6 月 20 日から 7 月 19 日まで、整備に向けた基本計画素案に対し、広く意見を求めるためのパブリックコメントを行いました。

検討委員会では、これらの意見を踏まえた基本計画案の策定に向け、お忙しい中、昨年 10 月から 7 回にわたる会議において、熱心に御審議していただきました。委員の皆様には心から感謝申し上げます。

8 月 31 日に検討委員会から答申をいただき、市では、検討委員会から出された基本計画案を十分に尊重しながら、基本計画の策定作業を進めていきます。市民が利用しやすい施設にするとともに、スポーツを通じた交流の活性化に資する施設となるよう、検討を重ねていきます。

次に、笛吹市夏祭りについてです。

8 月 13 日、20 日、27 日に開催することとしていた「石和温泉花火大会」は、台風の影響

から、日程を8月20日、27日、9月3日に変更して開催し、延べ1万2,000人を超える方が訪れました。3日間とも約3,000発の花火が打ち上げられ、大輪の花が笛吹の夏の夜空を彩りました。

また、7月20日から8月19日まで15回実施した「笛吹川石和鵜飼」は、延べ1万人が訪れる中、伝統ある徒歩鵜の実演に加え、鵜匠体験を実施しました。鵜匠体験をした方からは、「鵜匠はとても優雅で簡単そうに見えたが、鵜を扱いながら川の中を歩くのは難しく、見ているだけでは分からない貴重な体験ができた。」といった声が聴かれました。

次に、4年ぶりの開催となる川中島合戦戦国絵巻についてです。

11月6日に開催を予定している「川中島合戦戦国絵巻」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じた上で、従来のシナリオに沿った合戦に加え、新たに、綱引きや大玉転がしといった運動会のような競技性を持たせた内容も行う予定です。

参加者のみならず観覧している方々も楽しめる川中島合戦戦国絵巻となるよう、準備を進めています。

次に、子ども家庭支援事業についてです。

7月7日、小中学生がいる生活支援が必要な子育て世帯に対し、学校給食が提供されない夏休みでも、安定して食事が確保されるよう食料支援を行いました。

この事業は、本市独自の事業として、認定NPO法人フードバンク山梨と連携し、支援が必要な200世帯に、米やレトルト食品、菓子などの食料品を届けるものです。

当日の箱詰め作業には、私も参加し、子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべながら作業を行いました。

冬休み前の12月にも支援が必要な子育て世帯に食料支援を行います。

次に、生活困窮者緊急生活支援金支給事業についてです。

本市では、コロナ禍における原油価格や食費、電気、ガス料金を含む物価高騰の影響を受けた市町村民税非課税世帯等の負担軽減を図るため、県の支援金15,000円に市独自の支援金15,000円を合わせ、1世帯当たり30,000円を給付します。

8月15日には、対象となる8,353世帯に対し、支給要件や振込口座などを確認する書類を送付し、9月7日から順次振り込みを行っていきます。

次に、県中学校総合体育大会の結果についてです。

7月25日から30日まで県中学校総合体育大会が開催され、選手は積み重ねてきた練習の成果を精一杯発揮しました。

石和中学校の1年男子400メートルリレー、1年男子100メートル、御坂中学校の2年女子砲丸投げ、春日居中学校の1年女子400メートルリレー、共通女子100メートルハード

ル、1年女子砲丸投げ、硬式テニスで優勝しました。

また、8月に行われた全国大会には、石和中学校の弓道、空手団体組手、浅川中学校の相撲、春日居中学校の個人空手組手、硬式テニスの5種目に出場し、おおいに健闘しました。

次に、「津田青楓展」の開催についてです。

津田青楓は、京都に生まれ、着物の図案製作や油絵、日本画、書など多方面に活躍した画家で、数多くの作品を残しています。そんな青楓の作品を多くの方に御覧いただき、その魅力を知ってもらうため、青楓美術館と春日居郷土館の2会場で「津田青楓展」を開催します。

青楓美術館では、9月7日から令和5年4月17日まで「小池唯則と津田青楓」と題し、青楓美術館創設者である小池唯則氏と津田青楓の交流をテーマにした展示を行います。

春日居郷土館では、9月14日から12月18日まで「津田青楓前進の時代」と題し、画家人生のスタートとなった図案製作からフランス留学を経て洋画の世界で活躍し、その後洋画を離れるまでの作品を展示します。

また、近年、青楓の作品は注目が高まっており、2年前の練馬区立美術館、昨年の新宿区立^{そうせきさんぼう}漱石山房記念館に続き、今年は、渋谷区立^{しょうとう}松濤美術館にも本市が所蔵している作品の貸出を行いました。6月18日から8月14日まで「津田青楓 図案と、時代と、」と題し、図案集と図案に関する作品が紹介され、期間中には8,952人が入館し、青楓作品を鑑賞しました。

令和4年9月5日

笛吹市長 山下 政樹